

昭和5年(1930年)4月5日に創立された清明学園は、 令和12年(2030年)に 創立100周年を迎えます

清明学園同窓会
トンボ通信

第9号



令和7年6月
発行元
清明学園 同窓会

〒145-0066
大田区南雪谷3丁目
12-26

学校法人 清明学園内
会長 橋本繁樹
編集 高田都耶子
印刷 (株)錦光社

同窓会
QRコード
メールアドレス
登録用

seimei.dousoukai
@gmail.com



メールアドレスの登録に
ご協力ください

同窓会ホームページ
<https://www.seimei-dousoukai.com>



子どもと共に生き

子どもを生かし

子どもを通して生きる

濱野 重郎



「子供と共に生き、子供を生かし、子供を通して生きる。」草創の頃のこの言葉が、今では学園の若い教師達の腹の底に沸々とたぎっているのではない。
「世間に道理は行われ難い。しかし、吾が学園では行われねばならぬ。」教師間においても、児童間においても、父母間においても、また、その相互間においても。誤れるものを正し、理想実現への障害を排除して勇敢に立ち向かわんとする青年教師の熱情こそ育てられるべきであろう。
私はこの念願を実現せんがために上京し、成城学園で培われ、この清明学園で発芽したのである。道理の実現……実践……徹底 この道は厳しい。
しかし、清純で強靱な清明精神はここからも湧き出るのである。

濱野重郎 昭和30年4月5日記

清明学園百周年を
迎えるにあたって

理事長・学園長
浅野 輝一

同窓会会員の皆様、いかが
お過ごしでしょうか。

今年も「清明桜」が見事に咲き誇り、創立者濱野重郎先生が丹精込めて植えられた木々が、学園の長い歴史を物語っています。

重郎先生は、「我が清明学園は、子どもと共に生き、子どもを生かし、子どもを通して生きる」を信条に学園を創立されました。この先生の教育学を受けられた同窓生の皆様が社会に出られて大きく羽ばたいている様子を拝見し、先生の偉大さを身をもって感じさせられている今日この頃です。



学園は五年後に百周年を迎えます。昨年度から私たちは、清明学園の教育の見直しを始めました。
幼稚園の保育に始まり、初等部、中等部の教育に繋がる「真の一貫性」とは何かを追究し、重郎先生の目指した教育学を、いづれ世に問うことを計画しています。それと同時に、教育環境の充実という大変大がかりな改革を実行しようと考えております。
百周年に向かって、より具体的な計画を、皆様にお示しできるよう進めてまいります。今後とも清明教育の発展のために、同窓会会員の皆様のお力強いお力添え、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

同窓生の親睦と
学園の発展のために

同窓会会長

橋本 繁樹

濱野重郎先生の「子どもと共に生きる」教育方針が若いお父さん、お母さんに受け入れられ、多くの私立小学校が生徒の募集に苦労している中、清明学園には今年も元気な新入生が多数入学しました。先生方のご努力に頭が下

Instagram 始めました！

可愛い後輩たちの学園生活が見られます。



中学校



初等部



幼稚園



清明学園と共に

中学校前校長 鈴木 敏弘

とうとう今年は、美しく咲き誇る桜の開花を見ることがなくなりまして。私は三十九年という長い年月を学園で過ごさせていただきました。入職当初は、三浦校長、松浦主事、田川部長からご指導を賜りながら、そして子どもたちからは、エネルギーを注入してもらいながら、日々楽しく生活させていただきました。

その後は十年単位で、原校長、加藤校長、浅野学園長と歴代の校長学園長から薫陶を受けて今日に至りました。

今、教員生活を振り返りましても、すべて楽しくキラキラした思い出しか残っていないことに気が付きました。

在職中には、子どもたちの大きな怪我や、専門家に相談するような事象も当然のごとくあったのですが、苦しかったことのすべてが、子どもたちが日々くれる明るいエネルギーで包み込まれ、自然に浄化され、笑顔で過ごした日々の出来事だけが私の心に蓄積しているようです。

また、延べ数千人を超える保護者の皆様からも、保護者会や面談等を通して、たくさん学びをいただきました。

そして、学園の先達や同僚からは、教師としての在り方や子どもに寄り添うとはどう

いうことなのかを、今も学び続けております。

しかし、残念ながら今年で退職させていただくことになりました。定年を延長していただき、学園に恩返しすべく努めてまいりましたが、重い身体を支え続けてくれた両膝が限界を迎え、授業や校外学習引率を続けることが難しくなっていました。



今後は学園の繁栄とお世話になった皆様のご多幸を祈りながら、残りの人生を楽しく過ごしてまいります。

長年に渡りご指導を頂戴し心から感謝申し上げます。

校長就任のご挨拶

中学校校長 高橋 茂

清明学園中等部の校長に就任しました高橋茂です。清明学園の伝統を大切にしつつも未来に向けた新たな挑戦をしていきます。生徒ひとりひとりの個性を尊び、可能性を伸ばせる環境づくりに力を注いでいきます。知識だけでなく心を育む場を教職員と共に励んでまいります。清明学園

の創立以来の理念を大切にしながら時代の変化に対応しながらも「自ら考え行動できる力」を育むことが私たちの使命です。そのために多様な学びの場と探究心を刺激する授業づくりを進めていきます。



同窓生の皆さまが培われた精神は今の生徒へと受け継がれ清明学園の礎となっています。先輩方の活躍は後輩の励みです。その同窓会の皆様に誇れる母校であり続けるため今後も清明教育の質を高め、皆様と連携しながら学園の発展に努めてまいります。

子どもが自分らしく

初等学校教頭 阿河 久志

令和六年度は、清明祭も含め、全て通常通りの学校生活に戻ることができました。

清明祭は、コロナ前から形を変え、子どもたちが楽しめるようにと多くの工夫がされていきました。同窓生の方にもたくさん足をお運びいただくことができました。

笑顔で学校生活を送る子どもたちの姿を見ていると、「いつも通りの学校」が子どもたちにとっていかに大切なもの

なのかを実感します。

清明学園の教育は幼稚園から中等部まで、子どもに寄り添うことで一貫しています。我々教師は、そのためにどのような子どもを見つめるのか、子どもの姿から何を学ぶのかを日々問い続けています。

そのために、昨年度から初等部と中等部の連携をより具体的なものにしていく実践にも取り組み始めています。初等部と中等部の教員がお互いに授業を見合いながら意見を交換し、子どもにとって良い点はお互いに取り入れ、授業の形態も含めた改善を図っています。

五年生の算数にも中等部のような少人数制を取り入れ、一人ひとりの子どもに寄り添った指導につなげています。

また、中等部に進学する前に、中等部の教員が五年生に授業をする機会も設けました。五年生から六年生への段差を緩やかにすることで、安心して中等部へと進んでいくことができるのではないかと期待しています。



学校とは本来子どもたちにとって安心できる場所であるべきです。安心の中でこそ、より自分らしさを発揮するこ

とができます。

令和七年度の初等部も、子どもたちが安心して自分らしさを発揮できる学校にしていきたいと思っています。最後になりましたが、同窓会の皆様には日頃より学園への多大なご協力をいただき心より感謝申し上げます。

出会いと別れの季節を迎えて

幼稚園副園長 吉村 幸恵

うららかな春の日差しが心地よい季節となりました。

昨年度より副園長を務めております、吉村幸恵と申します。昨年度は、年長組副担任として、日々子どもたちと一緒に過ごしてきました。

幼稚園では三月十八日(火)、保育修了式が学園講堂にて執り行われました。修了生は、名前を呼ばれると大きな声で「ハイ!」と返事をし、舞台上がりました。園長先生から「おめでとうございます」と一人ひとり修了証書を受け取る姿は、とても凛々しく、立派な姿でした。

入園当初は、保護者のかたと離れることが寂しく、泣いている姿もありました。日々の園生活や行事をとおして笑顔が増え、好きな遊びを見つけた、友だちが増え、子どもたちの世界が広がっていきま

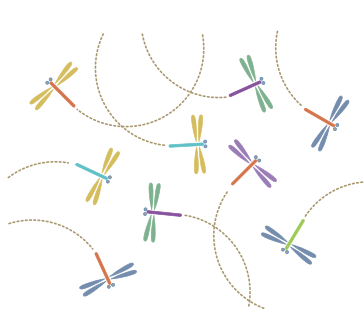
二〇二四年度は、二十七名の修了生が、それぞれの小学校へ羽ばたいていきました。これから小学校生活をスタートし、大きく成長していく姿が楽しみです。



春休み中には、園舎向かいの初等部校庭の桜が満開となり、新年度が始まりました。暖かな春の日差しとたくさんの桜の花に迎えられ、新入園児が入園してきました。

四月八日(火)には、入園式が執り行われました。初めての幼稚園生活に緊張している姿や、ワクワクと期待に胸を躍らせる姿が見られました。

「子どもとともに生き、子どもを活かし、子どもをととして生きる」という、創立者の言葉を胸に、今年度も子どもたちが安心して笑顔で過ごせる園生活を送っていききたいと思っています。



第四十回東京私立小学校 児童作品展

「ほら、できたよ」

初等部美術科

高田 洋平



毎年、初等部では、東京の私立小学校の美術作品展「ほら、できたよ」に参加しています。本展はコロナ禍四年間、中止を余儀なくされました。昨年の再開から二年目の本展になりますが、清明の子どもたちは共同制作の絵画を出品しました。本校では伝統的にグループで作った作品を展示しています。展覧会全体を通して、グループ制作を行っている学校は稀です。本校がグループ制作を大切にしている理由は、集団で一つの作品を作る難しさや楽しさを学んでほしいといった思いがあります。毎回、一つの作品が完成する過程で、衝突やけんかもたくさんあります。また、最初から最後までグループの考えが一致しパズルを組み立てるようにスムーズに完成まで進む場合もあります。こういった一枚一枚の子どもたちの制作ドラマに立ち会えることが、教員としての幸せであります。

中等部の様子

中学校校長 高橋 茂



三月七日(金)中等部の合唱コンクールが無事に終了しました。

生徒たちはこの日のために一生懸命練習を重ね、素晴らしいハーモニーを奏でくれました。会場は感動に包まれ、たくさんの拍手が響き渡りました。

たくさんさんの保護者の皆さま



の温かい応援もあり、とても素敵な時間となりました。それぞれのクラスが個性を生かした選曲と表現で、心を込めて歌い上げる姿はとても感動的でした。

指揮者や伴奏者もクラス一丸となって作り上げる音楽の中心となり、堂々とした演奏を披露してくれました。生徒たちは音楽を通じて協力することの大切さや達成感を味わえたことと思います。この経験が、彼らのこれからの学校生活や成長につながることを願っています。

初の全国大会二冠獲得

中部テニス部顧問

市岡 悠実



令和六年八月二十日から八月二十二日まで石川県金沢市で行われた「第五十五回全国中学校ソフトテニス大会」に参加し、女子団体戦で初の全国大会出場、そして男子個人戦・団体戦共に優勝し、二冠の日本一を獲得することができました。



昭和49年中学校卒業
12名
令和6年4月20日開催

◆クラス会補助金◆
各学年での同窓会には補助金があります。詳しくは同窓会ホームページ記載メールアドレスにて事務局までお問い合わせください。

令和六年四月以降開催状況



きな気持ちになりそうだった私たちの気持ちとは裏腹に、選手たちの目には闘志が燃えていました。「絶対に日本一になる」という選手の気持ちの後押しするように応援にも熱が入り、選手と応援が一致団結したその子どもたちの姿にとても感動しました。



昭和54年中学校卒業
令和6年11月10日開催



平成24年中学校卒業
白樺組 22名
令和6年11月8日開催



昭和30年初等部卒業
芙蓉・楓 11名
令和6年9月28日開催



昭和28年初等部卒業
萩・土筆 13名
令和6年6月21日開催



昭和46年年中学校卒業
14名
令和6年4月20日開催

学年連絡担当者会議

学年連絡担当者会議の存在は、学園と同窓生を繋ぐ大事な大事な存在です。引き続きよろしくお願いいたします。

《支出の部》

当期収支差額	511,468
前期繰越収支差額	8,338,369
次期繰越収支差額	8,849,837
財産目録	
現金	117,993
三井住友銀行 普通	3,345,269
ゆうちょ銀行 振替	5,386,575
合計	8,849,837

会議費	4,313
トンボ会費用	0
清明祭費用	108,930
クラス会補助金	80,000
通信・印刷・広報費	540,343
外部委託費	12,220
消耗品・旅費交通費	66,959
雑費・その他	22,550
支出合計	835,315

《収入の部》

入会金収入	216,000
運営会費収入	1,129,000
トンボ会参加費	0
その他収入	1,783
収入合計	1,346,783

令和六年度 決算報告

～ 学園を支えるための2つのお願い ～

◆同窓会運営会費のお願い

いつもお振込を有り難うございます。同窓会の運営費は、母校と卒業生をつなぐ活動費です。トンボ通信の発行、発送費、トンボ会開催の費用、クラス会への補助金等に活用されています。一口3千円、それ以上は千円単位での納付を、卒業後10年以上の会員のご協力をお願いします。

◆トンボ教育振興募金(トンボ募金)のお願い

令和2年4月に発令された緊急事態宣言により学園は全学年休校を余儀なくされました。オンライン授業のシステムを構築した際、90周年記念事業の寄付金が役立ちました。この経験から財政支援を目的とするトンボ教育振興募金を設立し、全額を学園の教育環境支援に役立てています。寄付金は一口千円とし、口数の上限を設けません。卒業後3年経過した皆様に寄付のお願いとし、トンボ通信に払込取扱票を同封しておりますので、何卒ご協力をお願い致します。



現在の校舎と校庭

理科の時間
(顕微鏡を使って)

税の優遇

寄付金に対する税制上の優遇措置について

学校法人清明学園は、東京都より寄付金控除の対象となる証明を受けています。皆さまのご支援をお願いいたします。

個人の場合

所得税の寄付金控除には A 税額控除制度と B 所得控除制度の 2 種類があり、確定申告の際に、お選びいただくことができます。

税額控除制度

寄付金額が年間2,000円を超える場合には、その超えた金額の40%に相当する額が、当該年の所得税額から控除されます。

$$(\text{寄付金合計額}^{\ast 1} - 2,000 \text{ 円}) \times 40\% = \text{税額控除額}^{\ast 2}$$

※1 控除対象となる寄付金額は、その年の総所得金額の40%が上限となります。

※2 所得税控除額は、その年の所得税額の25%が上限となります。

例えば

30,000円のご寄付について、税額控除制度を利用して確定申告をした場合、 $(30,000 \text{ 円} - 2,000 \text{ 円}) \times 40\% = 11,200 \text{ 円}$ …所得税控除額として所得税額から差し引かれます。※3

※3 個人の所得金額、各控除額により異なります。

所得控除制度

寄付金額が年間2,000円を超える場合には、その超えた金額が、当該年の所得金額から控除されます。

$$\text{寄付金合計額}^{\ast 4} - 2,000 \text{ 円} = \text{所得控除額}$$

※4 控除対象となる寄付金額は、その年の総所得金額の40%が上限となります。

確定申告に必要な書類
(いずれも
清明学園が発行)

- 清明学園領収書
- 特定公益増進法人であることの証明書(写し)または、税額控除に係る証明書(写し)

所得控除は税率が高い高所得者の方に減税効果があるといわれ、税額控除の方は、税額から直接控除することができるので、少額の寄付であっても減税効果が得やすく、一般的には「税額控除の方が有利」といわれています。

いずれの控除を選択するかは、ご自身の所得金額や寄付金の額などにより異なるとご理解ください。

(確定申告の際は諸条件を確認の上申請願います。)